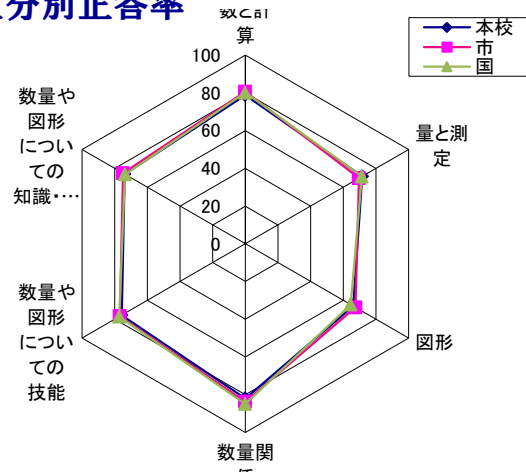


宇都宮市立宝木小学校第6学年【算数】分類・区別正答率

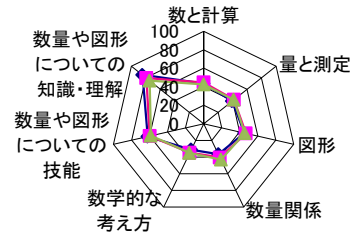
★本年度の国、市と本校の状況
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	78.9	80.7	80.1
	量と測定	71.5	69.6	71.3
	図形	66.0	67.4	64.5
	数量関係	82.0	83.7	84.9
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	75.7	76.8	77.2
	数量や図形についての知識・理解	73.9	74.8	73.6



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	43.5	44.6	42.4
	量と測定	39.3	41.8	41.7
	図形	45.3	46.8	45.6
	数量関係	36.6	40.6	43.0
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	31.1	34.9	35.3
	数量や図形についての技能	62.2	59.8	58.7
	数量や図形についての知識・理解	84.7	79.1	74.9



★算数に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「算数の勉強は好きですか」に対する回答は69.7%で、全国平均を3.1ポイント、「算数の授業の内容はよく分かりますか」に対する肯定的回答は89.3%で、全国平均を8.3ポイント、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときは役に立つと思いますか」に対する肯定的回答は94.7%で、全国平均を4.4ポイント上回っている。

●「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか」に対する肯定的回答は、全国平均を0.7ポイント下回っている。自分なりに考えた解決方法や解き方、友達の解決方法などを分かりやすくまとめる力を付けておくことは、中学校での学習に向けて大切なことであると考えられるので、今のうちから高めていけるよう指導・支援していきたい。

★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○小数で正答を選ぶ問題や計算の仕方を説明する問題の正答率は、全国平均を2.0ポイント上回っている。 ●小数の減法の計算は正答率が63.1%で、全国平均よりも6.4ポイント下回っている。分数の除法の計算は正答率が79.3%と、全国平均を4.9ポイント上回っている。	・小数の場合は小数点をそろえて計算するところや、分数と整数のわり算で整数を逆数に変えて計算するところを教科書で再度確認させることで、定着を図る。
量と測定	○180°を越える角度の読み方を考える問題の正答率は60.4%で、全国平均を1.6ポイント上回っている。 ●単位量当たりの大きさをみる複合問題の正答率は41.4%と低く、全国平均を9.6ポイント下回っている。	・単位量当たりの大きさの問題や複合された問題に対しては、様々な文章問題を解く中で、問題文をよく読んで必要な数字を整理して式や答えを導くとともに、考え方や筋道を明らかにしながら言葉や図などで説明する機会を増やしていく。
図形	○平行四辺形の作図の問題の正答率は72.1%で、全国平均を17.5ポイント上回っている。 ●図形の説明問題の正答率は、18.0%と低く、全国平均を9.7%下回っている。 ●円の中の三角形の構成についての正答率は45.9%と低く、全国平均を4.7ポイント下回っている。	・図形の説明問題は、全国的に見ても正答率が27.7%と30%に届いていない。提示された条件を理解した上で説明することに不得手があることから、図形の特徴を再度復習させ、図形の平面や空間を認知する力を付けさせていきたい。
数量関係	○四捨五入のおよその計算は正答率が61.3%で、全国平均を8.7ポイント上回っている。 ●問題文の条件から棒グラフや帯グラフ、円グラフを選択する問題の正答率は78.4%で、全国平均を5.3ポイント下回っている。また、○を並べた図をもとに式を読み、数に対応する○を説明する問題の正答率は85.6%と高いが、全国平均を2.5ポイント下回っている。	・問題に対して適正なグラフを見付けられるように、既習したことに立ち返って復習するとともに、社会科の資料などを活用し、多様なグラフにふれる経験を積み重ねていく。また、図から式を読み取る学習においては、類似する問題を数多く解かせていくことで、多面的に考えることができるようにしていく。